

練積みTYPE

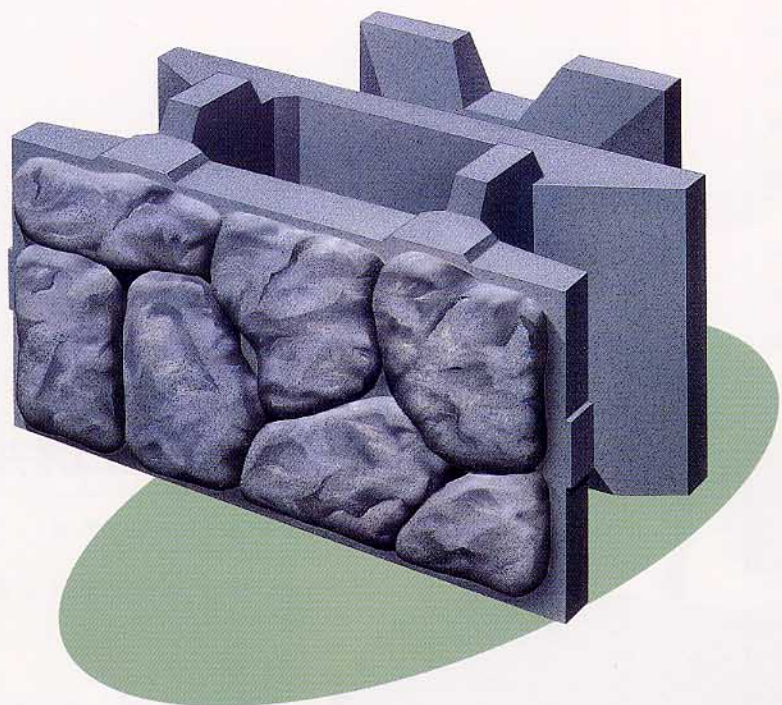
# エコグリーン



実用新案・意匠登録



## 草木や昆虫等の生物に生活の場を提供する多孔質の護岸が望まれています。



### 特長

本製品は治水上の安全性を確保したうえで、多様性ある河川環境を創出し、豊かで安定的な生態保全を可能にした製品です。

#### 1. 生態系に配慮

ブロック表面部には2cm程の孔と合端部に隙間を設けています。また、内部に栗石や砕石等を充填することで形成される空間は、草木の繁茂や昆虫等に生活の場を提供します。

#### 2. 景観に調和

ブロック表面は石積模様を呈しており、適度の陰影と石積護岸イメージを与え、周辺の景観にとけこみます。

#### 3. 土圧に対する安定性

胴込めコンクリートとブロック相互のかみ合わせによって高い一体性を保ち、より強固な擁壁が構築できます。

#### 4. 施工の省力化

通常、護岸として用いられている積みブロックの使用数は、7～10個/m<sup>2</sup>ですが、本ブロックは2個/m<sup>2</sup>使用であるため、施工の省力化が図れ工期を大幅に短縮します。

#### 5. 経済性

全国どこでも安定供給が可能で、石積護岸よりも経済的です。

### 用途

- 河川などの護岸工
- 宅地造成などの土留擁壁工
- 道路などの土留擁壁工
- 風致地区などの景観保全工
- 治山などの山留山腹工

※1. ブロック相互の合端の間隙約2cmは、河川に通常生育する草木の茎径、昆虫の大きさを考慮して決めています。

※2. 胴込め材料の粒径は、2cmより大きなものを使用して下さい。

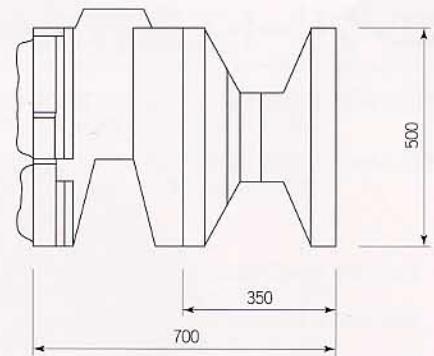
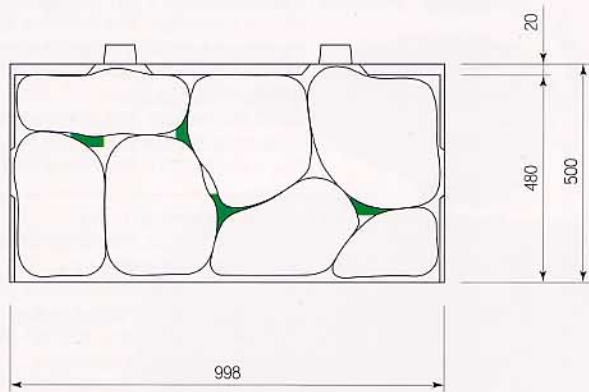
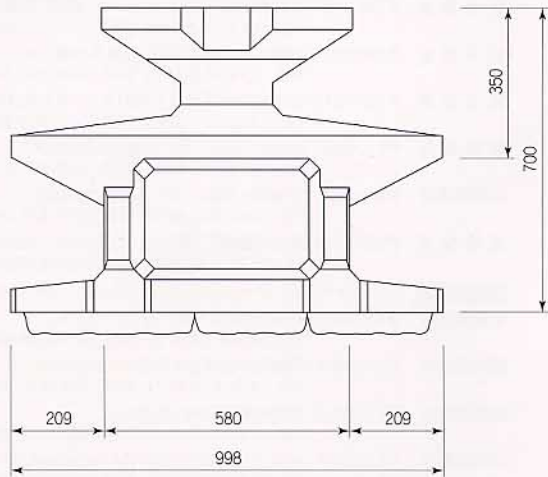
※3. ブロック表面は、玉石風と割石風があります。



呼び名	主要部寸法 高さ×幅×控長 (mm)	体積 (m <sup>3</sup> )	参考質量 (kg)	中込め材 (m <sup>3</sup> )	胴込めコンクリート (m <sup>3</sup> )	参考壁体質量 (kg/m <sup>2</sup> )	使用数 (個/m <sup>2</sup> )
A形	500×998×700	0.1462	336	0.109	0.105	1503	2
B形	500×498×700	0.0750	172	0.051	0.054	—	—
C形	150×998×500	0.0650	149	—	0.040	—	—
D形	150×498×500	0.0325	74	—	0.020	—	—

規格  
寸法図

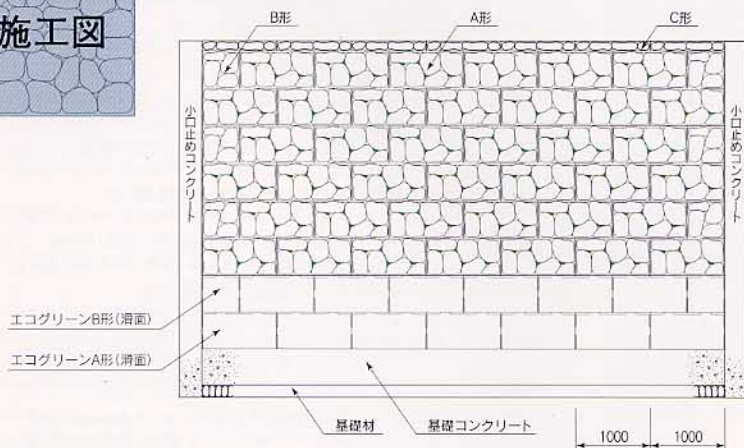
〈A形〉



長崎県 幡鉾川広域基幹河川改修工事

施工図

〈標準組積図〉



〈標準断面図〉

